

生徒一人ひとりが進んで学校生活づくりに参画し、  
協力して成し遂げようとする自主的、実践的な態度の育成

日立市立助川中学校

## 1 はじめに

本校では、特別活動の目標達成のために、二つに視点を置いて活動している。一つ目は、全校生徒が生徒会活動に主体的に参加する態度を養うための生徒会活動の在り方。二つ目は、常任委員会・中央委員会の連携を保ち、学級活動との連携を密にするための中央委員会の在り方。二点を踏まえて、実践してきた事例を紹介する。

## 2 資料

### (1) 生徒会オリエンテーション

新入生に向けた生徒会オリエンテーションでは、生徒会役員が生徒会の組織、議案の討議までの流れ等を説明する。委員会活動の説明では、各委員長が実演、実物提示等を通して、分かりやすく、印象に残るよう工夫を凝らすのが特徴である。



### (2) 生徒総会

生徒総会では、生徒会や各委員会の活動方針・報告等を行っている。また、各学級から出てきた質問に対して、委員会等が返答をする質疑応答を行う。学校生活をよりよくするために、曖昧なことや疑問に思っていることを率直に聞くことができるため、各学級で積極的な話合いをしている。



### (3) ゴミ0作戦・会瀬海岸清掃

ゴミ0作戦とは全校生徒で月1回、登校時に通学路に落ちているゴミを拾う地域の美化活動である。2003年から行われているこの活動は、助川中学校の伝統的な活動となっている。

会瀬海岸清掃は、毎年海の日、会瀬海岸に全校生徒が集まり、海開きに合わせて海岸のゴミを拾う活動である。地域のコミュニティの方々と連携し、自分たちの地域も元気にしようとボランティア活動を行っている。



## 3 成果と課題

生徒会役員が学校の中心、学級役員が学級の中心となり、様々な活動を行うことで、生徒が主体となって、取り組む様子が見られた。また、常任委員会と中央委員会の連携を軸にして、生徒会活動や学校行事への意欲的・積極的な姿勢が見られた。

今後の課題として、目的意識をもって生徒会活動に参加することができるような呼び掛けを行い、全員が自主的に参加できる生徒会活動を行っていきたい。また、生徒会本部のみが中心となって動くのではなく、各学級、学年生徒会、常任委員会など、活動の中心の幅を広げていくことで、全生徒が活躍できる場を増やしていきたい。